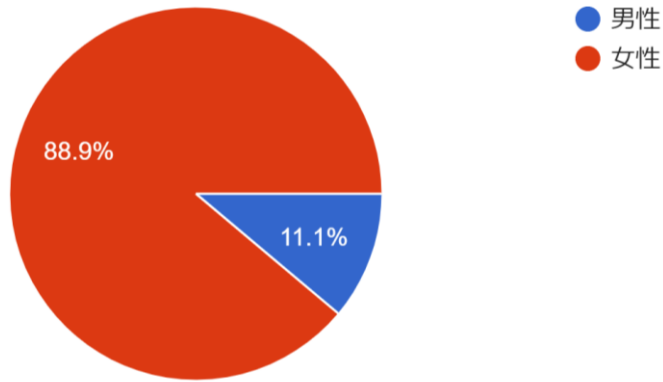


# 島原市在宅医療・介護連携検討委員会 情報共有検討部会 情報交換会：参加者38名（R3.10.25開催） アンケート集計

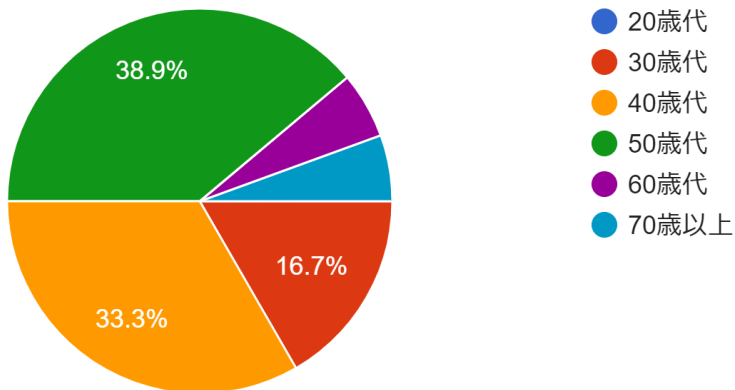
## 1、性別

18件の回答



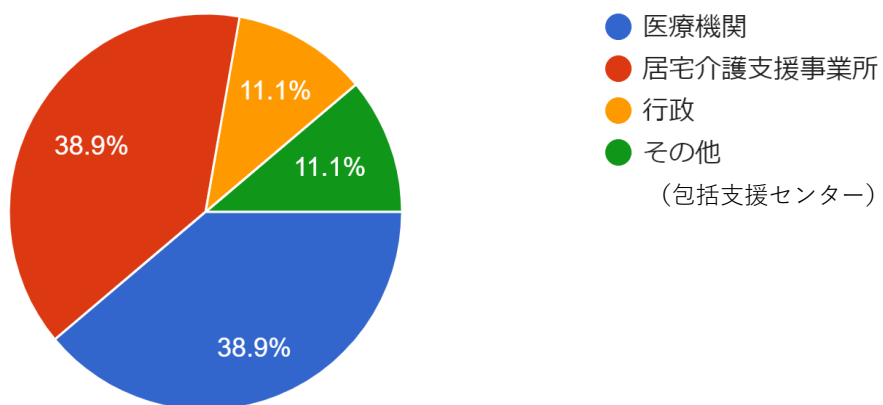
## 2、年代

18件の回答



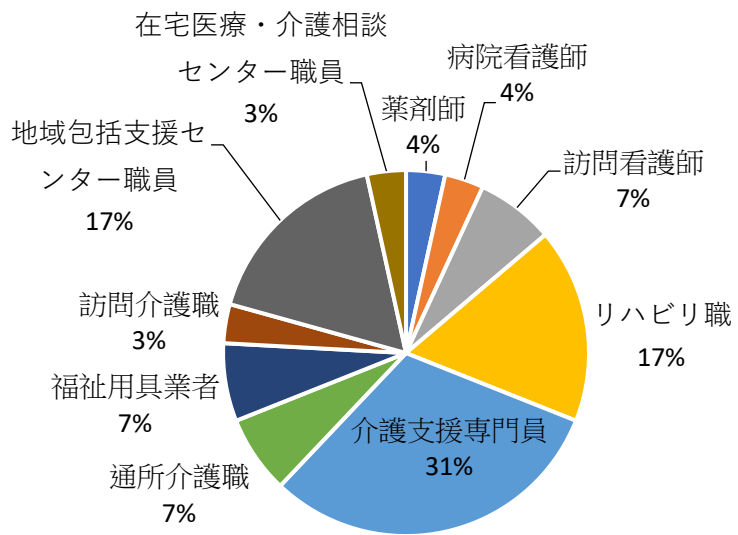
## 3、所属機関

18件の回答



## 4-(1)連携が取りやすい職種

(複数回答)



### <薬剤師>1

①訪問したときの利用者の様子などわかりやすく記入されている

### <病院看護師>1

### <訪問看護師>2

- ①連絡や状況の報告など連携をとることが多く、毎月報告書をいただけるから
- ②何か変わった事があれば直接連絡して下さるので、担当医に伝え、指示等を返すことができる

### <リハビリ職>5

- ①サービス担当者会議他で日頃から連携を取っているから
- ②電話で伝言を残すと折り返し連絡があります。
- ③フットワークよく、日常生活ベースで取り組んでくれる
- ④評価をされているので変化に対する連絡がある

### <介護支援専門員>9

- ①普段から連携を一番とっているから
- ②利用者さんの状況を詳細に把握されているので欲しい情報が聞ける
- ③担当であることがわかっており、利用者のことを理解している。窓口でかつ、専門職だから
- ④顔がみえる状態だから。
- ⑤お互いに情報共有、状態についてのやりとり、意見交換ができる
- ⑥担当患者について一番把握されているため、情報共有を行い連携が図れる。
- ⑦顔の見える関係づくりを常に図っている為

### <通所介護職>2

### <福祉用具業者>2

- ①相談に対して殆どの事業所さんがすぐに対応して下さる
- ②サービス担当者会議他で日頃から連携を取っているから

### <訪問介護職>1

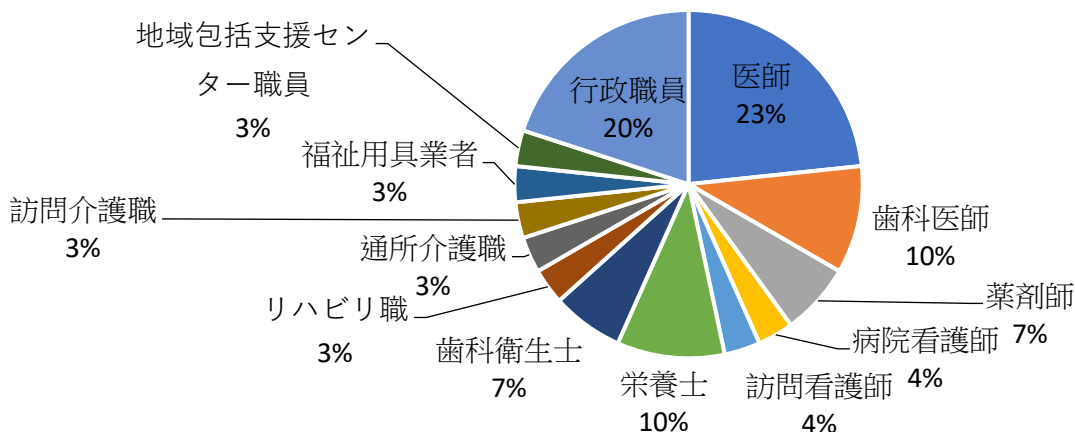
#### <地域包括支援センター職員> 5

- ①相談に対して対応をしてくださる
- ②良い意味で連絡を取り合うことが当たり前になっているので、ありがたいです。
- ③普段より顔見知りになり、話しやすい
- ④地域の事をよく知っており、困難事例が発生した場合連携がとりやすい
- ⑤顔がみえる状態だから

#### <在宅医療・介護相談センター職員>1

- ①必要時、連携が図れるよう窓口を把握している為

### 4、（2）連携が取りにくい職種（複数回答）



#### <医師>7

- ①多忙だと思われるから
- ②会う機会があまりない

#### <歯科医師>3

- ①歯科医師が連携が取りにくいというわけではなく、歯科についての意識や関与が少ないため、そもそも歯科と連携するという場面がほとんどないように思う。
- ②まだ連携を取ったことがない

#### <薬剤師>2

#### <病院看護師>1

- ①病棟の担当看護師などになると、やはり忙しそうで、電話対応もあわただしく、こちら申し訳なくなってしまう。連携室や師長さんとは、また違う感じがります。

#### <訪問看護師>1

#### <栄養士>3

- ①まだ連携を取ったことがない
- ②相談する機会が少ないため
- ③ほとんど会うことがない

#### <歯科衛生士>2

- ①なかなか連絡をすることがない

### <リハビリ職>1

- ①ほとんど会うことがない

### <通所介護職>1

- ①利用者さんの把握ができていないことがある

### <訪問介護職>1

- ①直接でなくケアマネを通じて行っている

### <福祉用具業者>1

- ①直接的に関わった事がない

### <地域包括支援センター職員>1

### <行政職員>6

- ①あまり地域に出てこない
- ②相談内容によっては、そこは担当ではないといわれたりする
- ③相談しても個別のケース対応は難しいようで解決に結びつかない
- ④相談の内容が伝わりにくいと感じる※対応してくださる人によってもずいぶん違います
- ⑤機会がない

## 5、医療・介護連携について連携の強化のためには何が必要だと思いますか。

- ① 顔の見える関係とICT等の先進技術の活用
- ② 顔の見える関係性の構築
- ③ 連携の必要性の共有
- ④ 価値観の共有
- ⑤ 密な連絡と顔の見える関係づくり。連携の実績を積み重ねていくこと。
- ⑥ お互いを理解しようとする努力
- ⑦ 協調性を持って、利用者の生活について方向性を共有する
- ⑧ 顔の見える関係や連絡を取ることに
- ⑨ 在宅医療、介護に関わる事の必要性をまず知ること、少しでも興味がある人を引き込んで行く事が大事な。介護、連携室はどんどん医療関係者に入って行ってください。
- ⑩ 日頃から顔の見える関係の構築に努めること
- ⑪ 退院の際に、担当者会議をもっと積極的にこなしてみる
- ⑫ 他職種と顔なじみの関係性の構築
- ⑬ "・患者さんが、少しでも長く在宅で生活できるように支援を行うことが大切だと思います。その為には患者さんにあった支援が必要となるため、他職種の連携が重要と考えます。情報共有を密に行うことが最も大切なので、ケアマネジャーと密に連絡を取り合い、コミュニケーションを図り、信頼関係を築き支援することが必要だと思います。転院してこられた患者さんはAシートが届かないので、ケアマネジャーの方にはお手数だと思いますが、Aシートを改めて提出していただくと、情報共有を図ることができると思います。（退院支援のために）"

## 6、本日の意見交換会はいかがでしたか。感想やご意見をご自由にお書きください。

- ① とても良い研修会でした。またよろしく願いいたします
- ② 再入院率が多いのはケアマネのマネジメントが原因、という言葉だけが心に残りました。担当ケアマネは一人しかいないので、色々な矛先を向けられる事が多い様です。
- ③ とても参考になりました。シートを積極的に活用できればと思います
- ④ 病院側の意見が聞けてよかったです
- ⑤ 医療機関の参加がもっと得られていくといいなと思いました。グループワークの時間は、短かったです。その中でも現場の方々の生の声がきけたことは、貴重でした。
- ⑥ お疲れさまでした
- ⑦ 「連携ができていない」「もっと連携をしないと」という視点で見えていたが、100%ではないが、意外とシートが普及できており、連携ができていないのではないかと日頃のみなさんの努力の効果を感じることができた。モチベーションにもつながった。形はできてきているので、これからは質を求めていかないといけないのかもしれない。
- ⑧ グループワークでうまく意見をまとめて発言できず、限られた時間だったのに時間を要して申し訳なかったです。医療機関の意見が聞けて、今後シートを使用する際の参考になりました。
- ⑨ グループワークの時間が短かったので話し合いがきちんとできないことがあった。
- ⑩ ケアマネ、連携室、包括の方の頑張りを感しました。私は看護師ですが在宅での生活を維持するために看護として何をすべきかを考え、患者を支えるひとつの輪として関わりたい。
- ⑪ 楽しかった。リモートの扱いに習熟したい
- ⑫ とてもスムーズな意見交換会となりGワークの進行役の意見集約、発表がとても聞きやすく参考になりました。ありがとうございました。
- ⑬ "他職種の方の意見が聞けた。参考になることや、今後の医療機関としての課題が見えてきた様に感じました。「病院側がシートをどのように活用しているか」について、自院でも、具体的に示せるよう検討していきたいと思います。本日は参加させて頂き、ありがとうございました。"
- ⑭ 勉強になりました。ありがとうございました。
- ⑮ 初めて参加させていただき、情報提供、共有シートについて詳しく把握することができました。また他職種の意見を聞くことで、これから退院支援を行っていくにあたり、密に連絡し合い、情報共有することに取り組みやすくなると思いました。